

柳川郷土研究会
会誌「水郷」付録

すいきょう

瓦版

発行所 柳川郷土研究会
柳川市本城町113-1

発行人 武松 豊



き 全般、瓦版十一号を発行した
が、それを東京在住の級友に送
ったところ大変喜ばれた。

当会の発行する印刷物は評価が
高いとのこと。

(もぐら) そう聞かされると我々も元氣
がでる。遠方に居住する同郷人
竜 にとつては年を重ねるほど故郷
土 が懐かしくなるものらしい。

折にふれては清水山系から出てく
る朝日や有明海の彼方に沈む夕日・
整然とした田園・潮干狩りその他の
思い出に耽っているに違いない。

とすればわが会も便りを待つそれら
の人達に、新旧取り混ぜた情報を送
る必要があると思わねばならない。

しかし東京の子供たちの五〇%以上
は夕焼けをみたことがないとのこと。
盆・正月に祖父母の待つ田舎に帰省
する子供は幸福である。

ビル以外に故郷を持たない子供たち
のために春休みや夏休みに里親の役
を務め、のんびりした当地を第二の
故郷として親しみをもってもらった
らと思っている。

(土 竜)